

平成 23年 第 3 回定例会 議会報告

(平成23年9月20日～10月18日)



かみくら 秦野市議会議員 神倉ひろあき

◎市議会議員選挙後の初めての議会が、9月20日から始まり、10月18日、委員長報告をもって終了しました。以下、一般質問、決算特別委員会における私の質問と要望を、ご報告いたします。

★一般質問 「学校教員統計調査について」(2010年度文部科学省調査 中間報告)

1. 教員のメンタルヘルスについて

質問 文部科学省によると、全国で精神疾患を理由に退職した教員が940名に上っており、病気を理由に退職した教員の約半数が精神疾患であると言う。また、うつ病の症状を訴える教員の割合は一般企業の2.5倍もあると言われるが、なぜ精神疾患が教員にかなりの数起きるのかを調査し対策をとらねばならない。そこで①本市における直近3年間の退職者・休職者の数と理由。②そして教員に何故、精神疾患がかなりの数出ることか、原因とメンタルヘルスの取組みを伺いたい

回答 ①退職者数：直近の3年間で94人おり、うち4名が精神的疾患を理由に休職後、退職した。休職者数：直近の3年間で25人。うち17人が精神疾患による。②原因は、児童生徒に、教員の指示が通らず、学級運営が出来なくなり自信をなくす。保護者との関係がうまく築けない。職場の人間関係で悩む。等でストレスを受けることによる。メンタルヘルスの取組みは、職場の雰囲気、教員同士の健康状態に気を配ること。悩みをメールで受ける相談窓口を設置している。スクールカウンセラーの相談が受けられる。また、休職中の教員に対しては管理職が定期的に連絡をとる。

2次質問 精神疾患が理由で、退職したり、休職したりする教員が、かなり多いのは、①過重な仕事量が原因の1つではないのか。②仕事量の軽減は出来ないのか。③教員は、日に何時間くらい残業があるのか。

回答 ①仕事の質や量に変化しているし、家庭の事情等の要因も重なり精神的に負担を感じる教員はいる。②今年度より1年生は35人学級になる事で事務量が軽減する。教育指導助手、特別支援学級介助員、学習支援協力者等を有効に活用する取組みを図る③文部科学省調査では平均：残業が小学校で1時間49分、中学校は2時間26分である。

要望 休職者の約7割が精神疾患であるとは、異常とも言える。様々な調査で多くの教員は、多忙で仕事量が過重であると思っている。本市の調査『学校教職員の多忙化とその改善』からも、その一端が窺える。県、他自治体や医療機関と連携しメンタルヘルス対策を確立して欲しい



2. 女性教員の管理職登用について

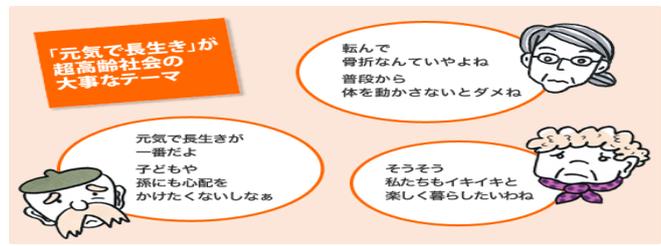
質問 学校教員統計調査によれば、全国の教員のうち、女性教員の占める割合は、小学校で62.0%、中学校では41.1%である。管理職で女性の校長の占める割合は、小学校で18.4%、中学校は5.4%であり、教頭は小学校21.4%、中学校8.0%である。教員数の女性の占める割合からすれば、登用が不十分である。秦野市の女性管理職の登用であるが、①教員総数と女性教員の占める割合を小・中学校別に伺いたい。②女性管理職の数と占める割合を、小・中学校別に伺いたい。

回答 ①本年度：小学校は、426人、うち女性教員は271人、占める割合は約64%。中学校：275人、うち女性教員は119人、女性教員の割合は、約43%である。②小学校13校（校長13人、教頭13人）について、平成21年から23年度は、校長3人（23%）、教頭4人（31%）である。中学校には、女性管理職はいない。

2次質問 ①校長、教頭への登用はどのようになされるのか。②中学校教員で女性の割合は約41%である。女性管理職がないのは、おかしいではないか③女性教員が管理職を目指し意欲を高めるために具体的な取組みをどう進めるのか

回答 ①人事評価や管理職研修の履歴等による資料を市教育委員会が作成し、県教育委員会に提出し県が任命する。②「はだの男女共同参画プラン」の趣旨から積極的に女性管理職の登用に向けて努力していく。③女性教員の権利を保障し、職場が、それを支える環境づくりと男女共同参画の意識を高める土壌作りが欠かせないと考える。

要望 管理職登用の案は、秦野市教育委員会であり県の変更などあり得ない。優れた能力と意欲のある女性教員はいるはずであるから「はだの男女共同参画プラン」にのっとり女性教員の管理職登用を進めていただきたい。



★一般質問 「高齢者福祉について」

質問 国勢調査の速報によれば、1人暮らし世帯数は総世帯数に占める割合が3割を超え最多となった。また、総人口に占める65歳以上の割合は、23.1%で世界最高である。65歳以上の1人暮らし世帯は65歳以上人口の15.6%で、1人暮らし世帯の増加が目立っており、この傾向は、今後も確実視されている。そこで①「在宅ひとり暮らし高齢者等登録制度」に登録してない高齢者への戸別訪問を実施する必要があるではないか。②在宅介護は、介護者にとって夜間介護の負担が大きい。夜間対応型訪問介護サービスにより在宅介護の充実を図るべきではないか。

回答 ①何かしらの方法で安否確認をしていくことが必要であり、今後、精査していきたい。②来年度からスタートする第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に「24時間地域巡回訪問サービス」を位置づけ在宅介護の充実を図りたいと考えている。

要望 高齢者の安心・安全の暮らしに向けて、①「在宅ひとり暮らし高齢者等登録制度」に登録されていない方の安否確認を実施して頂きたい。②事業者と調整し「24時間地域巡回訪問サービス」による在宅介護の充実を早期に図ってほしい。

★平成22年度 決算特別委員会における主な質問内容

歳入 1.基準財政収入額： 収入が低い要因。

2.不納欠損額： 前年より約7億3千万円増加したこと。

3.未収金対策： 未収金は年間約6億円から7億円回収されているが現在、まだ約54億円ある。今後の対応と展望。

総務 1.連絡所経費： 駅前の利用は高いのに鶴巻温泉駅には無い、今後どうするか（宮永美術館等の活用を要望した。） 2.自転車等放置防止対策事業費： 撤去台数が大幅に減少した要因。

民生費 1.ことばの相談事業費： 相談件数と成果。

2.小児医療費助成事業費： 所得制限と年齢拡大の要望。

3.保育所緊急整備費補助金： 現在52名の待機児童対応。

衛生費 1.リサイクルプラザ整備事業費： 建設しないのに土地を再度測量し無駄な税の使い方をしたこと。

農林費 1.農産物ブランド化推進事業費： 概要、目的と成果。 2.地産地消推進事業費： 市内の地産地消の割合。

商工費 1.商店街街路灯等維持管理費補助金： 節電CO2削減等の省エネ電球の導入による効果はどうか。

2.商店街空き店舗等活用事業費： 出店応募の20%しか開業出来ていない事や事業の周知方法。

土木費 1.歩道設置事業費： ①市道816号線（旧アイワート通り）の歩道は危険個所が多いので早急に対策を！

②大川橋から市役所に向い、3軒目の土地の買収について。



（市道6号線 栄町1-3の跡地）

●市の見解： 本町小から大川橋までの歩道幅は、合意形成が難しく見合わせていたが地権者から買い取り要請があり購入した。

●問題点(質した事) ……無駄な用地買収

①関係者との合意形成がなく歩道幅も立っていない。

②歩道幅に必要な用地は約8坪なのに跡地全体の約29坪を買収。坪単価 約63万3千円

総額約1,830万円・・・平成20年6月25日、市が取得。

③歩道幅は総合計画にない。セツバックは任意後退の場所で整備方針が定まっていないのに真ん中の土地だけを買収。

●一般質問の詳細は、「秦野市議会HPにて、録画配信しています。」是非ご覧ください。

●〒259-1322 秦野市洪沢2-5-13 Tel&FAX 0463-88-3655 携帯：090-3533-8034

Eメール； kamikura5@yahoo.co.jp

神倉ひろあき 平成23年第3回定例会 議会報告

●市民の皆様のご意見ご要望をお知らせください！！ 急行致します。